

発明の名称:子宮頸癌の検出方法

利用・用途・応用分野

無料開放特許

子宮頸癌の高精度診断方法、及び子宮頸癌治療薬のスクリーニング法

目的・課題

解決ポイント

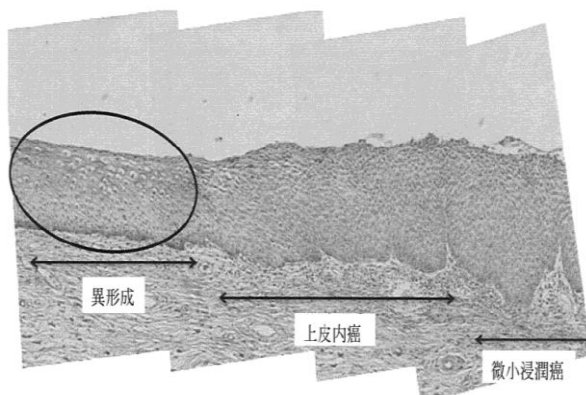
従来の子宮頸部細胞診、化学療法に代わる簡易で、効果の高い診断・治療法が望まれている。そこで、高精度に検出可能で、かつ腫瘍マーカーや創薬ターゲットとして利用可能なバイオマーカータンパク質、これを用いた子宮頸癌の検出方法、及び子宮頸癌治療薬のスクリーニング方法を開発する。

従来のような腫瘍細胞だけでなく腫瘍組織全体として、かつ前処理の無い新鮮な組織を統計学的に十分な症例を確保し、個体差を除外して子宮頸癌特異的に発現の変動するタンパク質であるクリスタリン、トランスジェリン、プロテインジスルフィドイソメラーゼ(PDI)を見出した。これらのタンパク質が個体差によらず子宮頸癌において有意にその発現が増加・減弱しているタンパク質であり、これをマーカーとして用いることで子宮頸癌の検出を効率よく行うことが出来ることを見いだした。

研究概要・アピールポイント

子宮頸癌の効率的な検出が可能であり、本スクリーニング方法を利用することにより子宮頸癌の新規な治療薬の探索が可能となる。子宮頸癌や扁平上皮癌のマーカー、診断用キットは、子宮頸癌の診断、治療薬探索のスクリーニングに活用できる。

更に免疫染色により、異形成の段階でもクリスタリンの染色性の低下は正常と進行癌で差が認められるだけでなく、上皮内癌を含む極めて初期の癌の検出に有効であり、早期の治療を勧めるなど、治療方針の決定にも寄与すると考えられる。



【抗クリスタリン抗体を用いた子宮頸癌及びその周辺組織の免疫染色像】

◆ お問い合わせ先 ◆

有限会社山口ティール・エル・オー TEL: 0836-22-9768 E-mail:tlojim@yamaguchi-u.ac.jp